

キャラクター名
美麗 燈子

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	大学生
	サラマンダー					
オプション			年齢	21	性別	女性
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	31	%
出自	義理の両親	経験	心の壁	邂逅	家族	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	4	0	0			4	行動値	7
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	7
精神	2	1	2			5	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	5		交渉		
回避			知覚			意志	2		調達	2	
運転:			芸術:			知識:知識:医療	1		情報:UGN、裏社会	5	-1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
凍土		9r+5		16		①②③④。コスト13 範囲(選択) 攻撃力+11装甲値無視
		0				
凍土(100%↑)		9r+5		20		①②③④ コスト13 100%↑ 範囲(選択)装甲無視 攻撃力14 d+1(侵食率ボーナス除く)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:情報屋	
コネ:要人への貸し	
携帯電話	
情報収集チーム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
神城早月	P 感服	N 隔意		
水無月潤	P 尊敬	N 悔悟		
Dロイス:絶対のぜ	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:サラマンダー	3	3	メジャー			自動		
効果:	C値-Lv(下限7) 判定ダイス+3							
結合粉碎	4	4	メジャー			対決		
効果:	攻撃ダイス+1lv 装甲値無視							
ブリザードプレス	1	3	メジャー	視界	範囲(選択)	RC		
効果:	攻撃力+lv 判定のダイス-3個							
灼熱の砦	5	3	メジャー			シンドローム		
効果:	攻撃力+Lv×3 ラウンド中に移動を行っている場合エフェクト使用不可能							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

サラマンダーの癖に熱意が無い女性。

微妙な人間不信と厭世感を vari 風にかじらせた結果微妙に達観してしまった枯れた人。案外子供好き。

時間を持って余している大学生、に見せかけている。就職活動はコネで終わらせた、と言う事にしてUGN傘下企業に納まる予定である。

ヒューさんの裏設定(と言う名の黒歴史)

高校時代に色々あって転校。生来の金髪もあり普通の高校だと悪目立ちする事と、転校する事になったきっかけのおかげでそういう視線が少なそうな高校に任務を兼ねて異動願いを出した所、敷地内に協会があるようなとんでもない所に放りこまれた。当時多少荒れてた事もあり、善人ばかりのその場所から妙に浮いた結果……なぜか後輩達にやたら懐かれる。事件が終わったのちに耐えきれなくなったのでふたたび申請した所、後輩の実家の方のスポンサーが圧力をかけたらしくそのまま本人いわく暗黒の高校生活を過ごす羽目になった。実を言うとそっちの筋を頼ればいい所に就職できるのかもかもしれないが今でも苦手にしているので正直あまり頼りたくはないがUGNの組織に所属するのどうかと悩んでいる。

コネ:要人の貸しは色々黒歴史である。

高校生活の色々:2年位の時に先輩に告白されたのだが、当時任務とかで頭が一杯だったし、とくになんとも思っただけで無い相手と取り敢えず付き合えるほど恋愛に積極的でもなかったのであっさり振った所、女子に敵対視されて軽いいじめ状態にあった。財布に痛かったのとやり返しても言い逃れされるとは思っていたので余り相手にせずさっさと転向に至る。